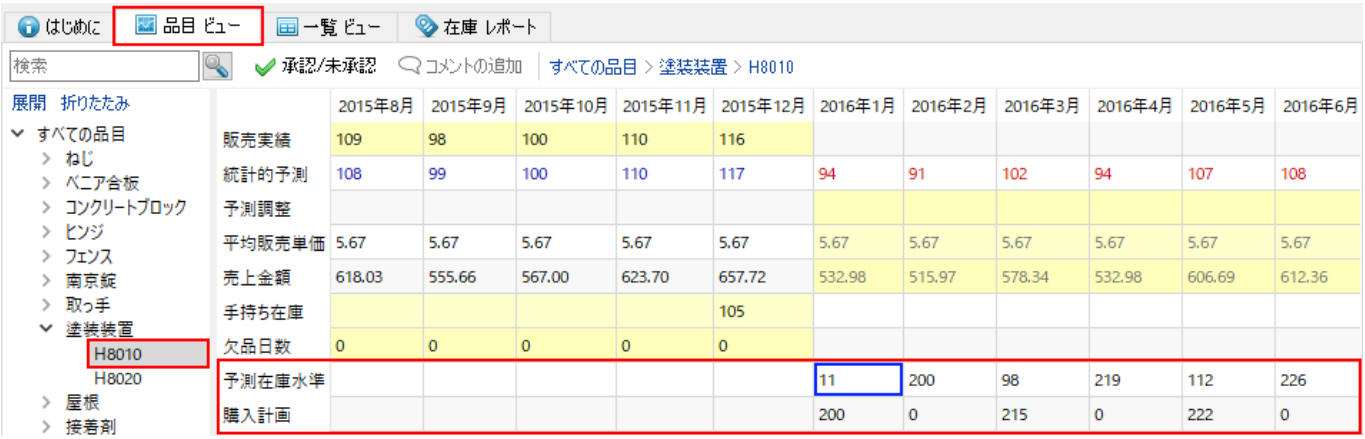
5.3. 購入計画と予測在庫水準の閲覧

購入計画と予測在庫水準は、複数の基準で表示されます。単一品目を基準にする場合、**需要予測タブ**にてこれらを表示し、すべての計画品目を基準にする場合、**在庫計画タブ**にてこれらを1レポートで表示します。

品目基準の閲覧

需要予測タブにて**ツリー ビュー**から対象**オプション**を選択し、品目別や地点別や**チャネル**別の購入計画と予測在庫水準を確認できます。この例では、地点とチャネルが両方ともインポートされていないため、ツリーの下の部分に表示**オプション**がありません。

品目**H8010**を詳しく見てみます。この品目の予測在庫水準と購入計画は、**テーブル**内の**予測在庫水準**と**購入計画**の行に表示されます(下記の図を参照)。



	2015年8月	2015年9月	2015年10月	2015年11月	2015年12月	2016年1月	2016年2月	2016年3月	2016年4月	2016年5月	2016年6月
販売実績	109	98	100	110	116						
統計的予測	108	99	100	110	117	94	91	102	94	107	108
予測調整											
平均販売単価	5.67	5.67	5.67	5.67	5.67	5.67	5.67	5.67	5.67	5.67	5.67
売上金額	618.03	555.66	567.00	623.70	657.72	532.98	515.97	578.34	532.98	606.69	612.36
手持ち在庫					105						
欠品日数	0	0	0	0	0						
予測在庫水準						11	200	98	219	112	226
購入計画						200	0	215	0	222	0

予測在庫水準行は、列ヘッダの*期間の最終日時点*の水準を示します。**1月**の最終日に、**11**単位の在庫が予測されています(上記の図を参照)。

予測在庫水準の計算方法を詳しく学ぶには、**オーダー**計画計算文章を参照してください。

購入計画行は、列ヘッダの*期間の初日*までに**オーダー**すべき数量を表示します。

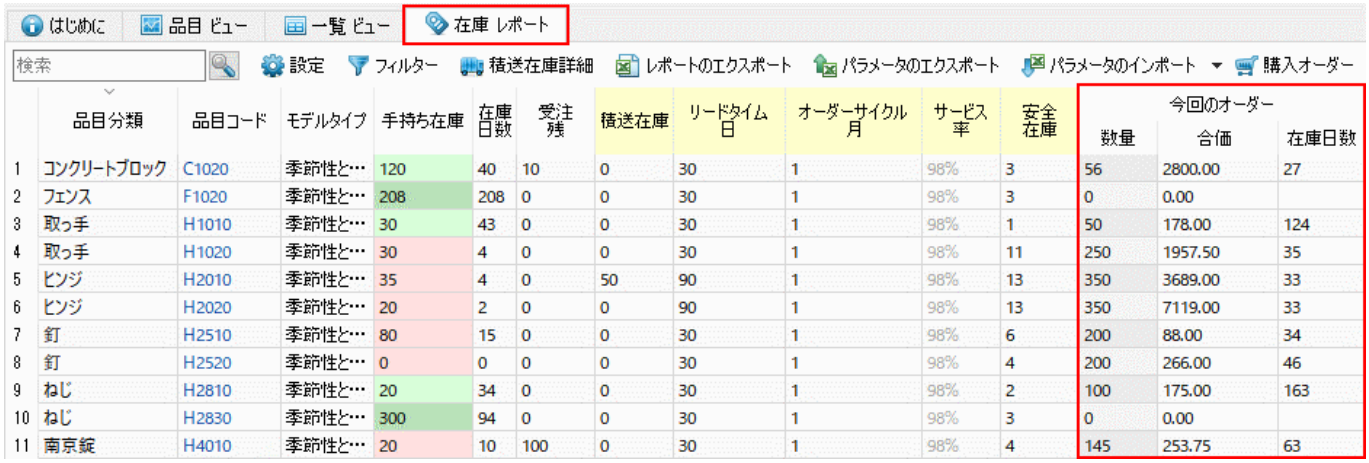
推奨**オーダー**数量は、各**オーダーサイクル**の先頭に表示されていることが確認できます。例えば、**オーダーサイクル**が2か月の品目**H8010**は、**1月**の初日までに**200**単位の購入**オーダー**の発行が必要です[1)]



購入計画の計算方法を詳しく学ぶには、オーダー計画計算文章を参照してください。

レポート閲覧

在庫計画タブの**今回のオーダー**列では、すべての品目の現在の推奨購入**オーダー**を表示します(下記の図を参照)。



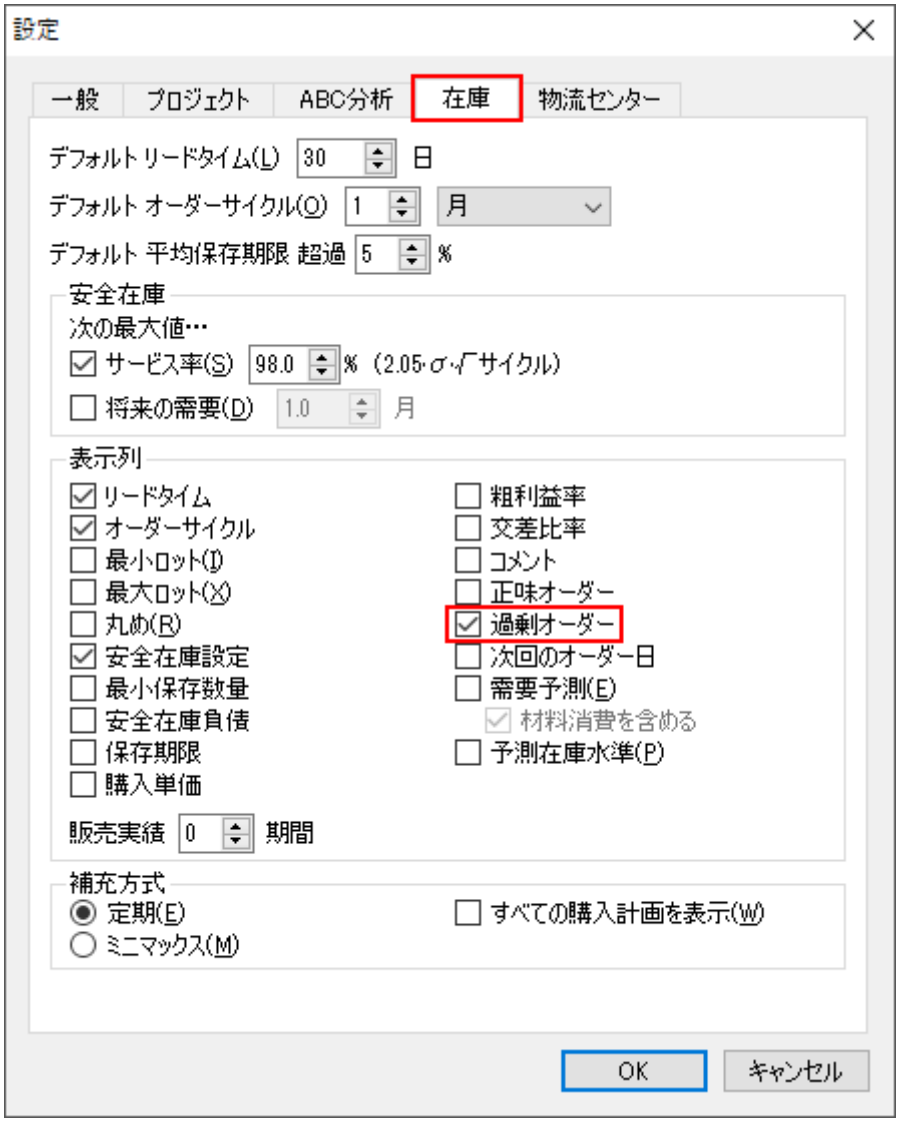
ここで、**今回のオーダー**にある“ **今回の** ”部分は、現在の補充**パラメータ**と予測から構成される現在の状況を参照します。**手持ち在庫**や**入荷数量**や他の**パラメータ**や予測の変更後、**プロジェクト**の再予測にて、**今回のオーダーセクション**が更新されることを意味します[2)]

今回のオーダーセクションにある列の意味は、次のようになります。:

- **数量**は、現在時点で**オーダー**すべき数量です。
- **在庫日数**は、**オーダー**すべき**数量**が、将来の(予測を基準とした)需要に対応できる日数です。
- **金額**は、購入**オーダー**明細行の金額を表示します。

一般的には、購入先には、最小の**オーダー**数量かつ/または**オーダー**丸めなどの**ロットサイズ**制約があります。制約の結果、必要以上の**オーダー**数量になることがあります。過剰割合である過剰**オーダー**は自動で計算されます。次の手順に従い、過剰**オーダー**を表示します。:

1. **在庫計画**タブに進みます。
2. **タブ ツールバー**の**設定**ボタンをクリックします。
3. **表示列グループ**内の**過剰オーダーオプション**をクリックします。(下記の図を参照)



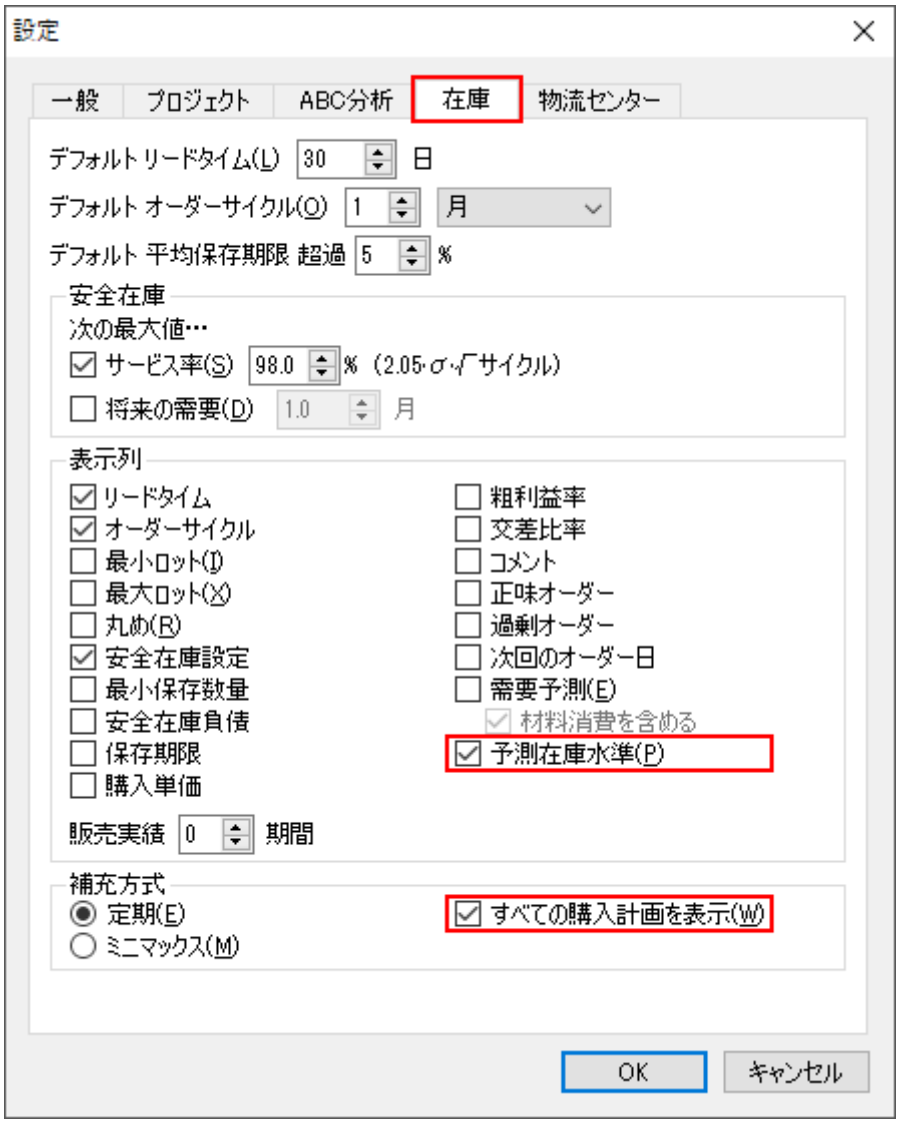
ここで、今回のオーダーセクションに、過剰オーダー列が追加されます(下記の図を参照)。

	今回のオーダー		
数量	過剰オーダー	合価	在庫日数
56	0%	2800.00	27
0		0.00	
50	84%	178.00	124
250	12.8%	1957.50	35
350	4.9%	3689.00	33
350	4.9%	7119.00	33
200	10%	88.00	34
200	38%	266.00	46
100	83%	175.00	163
0		0.00	
145	0%	253.75	63
486	0%	918.54	31

今回のオーダーセクションは、分析に利用されるのが一般的ですが、**過剰オーダーや購入金額や在庫日数**やABC分析や他のKPIを基準とする補充オーダーの作成にも利用されます。

在庫計画タブでも予測在庫水準と購入計画を表示できます。次の手順に従い、これらを表示します。:

1. **在庫計画タブに進みます。**
2. **タブ ツールバーの設定 ボタンをクリックします。**
3. **予測在庫水準とすべての購入計画を表示オプションをクリックします**(下記の図を参照)。



ここで、在庫**レポートのテーブルは購入計画と予測在庫水準セクションを**自動で表示**します**(下記の図を参照)。

オーダー計画					予測在庫水準				
2016年1月	2016年2月	2016年3月	2016年4月	2016年5月	2016年1月	2016年2月	2016年3月	2016年4月	2016年5月
50	66	75	74	83	36	39	39	42	44
0	0	0	0	0	183	158	129	100	65
50	0	0	0	50	55	43	31	20	56
250	250	300	300	300	243	36	323	354	329
350	400	350	300	350	0	0	340	420	378
350	400	350	300	350	0	0	340	420	378
200	200	200	300	200	195	21	218	319	295
200	100	200	100	200	196	76	223	174	212
100	0	0	0	0	102	85	65	47	28
0	0	100	100	100	201	107	109	120	116
150	72	80	80	84	68	7	80	84	85

予測在庫水準セクションの色分**けは、**次**のこと**を意味**します。**:

- **手持ち在庫** + 積送在庫数量(LT:**リードタイム** + OC:**オーダーサイクル**) - 受注残数量(LT:**リードタイム** + OC:**オーダーサイクル**))**で**需要**が足りる**将来**の**期間。(背景**が**緑)
- 欠品**が**予想**される**将来**の**期間(背景**が**赤)。

購入計画**は、**必要**に応じて**ユーザー**の**購入先**にエクスポート**されるの**が**一般的**です。**

次へ: 予測欠品と予測過剰在庫の分析

PDFダウンロード

1)
翻訳者注釈: **オーダーサイクルが2か**月**のため、**翌月**の**購入**オーダーは0になります。**
2)
翻訳者注釈: **今回のオーダーセクション**の**更新**には、**変更後**の**再予測**が**必要です。**

From:
https://gmdhsoftware.com/documentation-sl/ - **GMDH Streamline Docs**

Permanent link:
https://gmdhsoftware.com/documentation-sl/ja:viewing-purchase-plan-and-projected-inventory-levels

Last update: **2020/09/27 10:54**